

Z会賞
(高校部門)

宮城県宮城野高等学校 3年

わたなべ
渡邊

あいか
愛夏

二兎追わぬ者は二兎は得ず

中学時代の恩師

中学生最後の社会のテストに「自分の将来」について書く問いがあった。当時の私は将来やりたいことが二つあり選べずにいた。二兎を追う者は一兎をも得ずということわざがあるように一つに絞らなければどちらにおいても成功することはないという焦りがあった。その旨を書いて提出したときに返ってきた「ことば」である。やりたいことがたくさんあるのは自分の長所であり、視野が広がるチャンスであるとプラスに考えられるようになった。私は、将来は地方活性化に関わりながら世界中を飛び回る客室乗務員になりたい。その夢を叶えるために、現在は震災ボランティアや国際交流などの活動を通して二兎どころか四兎、五兎をも追う日々を送っている。

受賞にあたって

この言葉を言ってくれた先生は授業の準備も何日も前からされるような、まじめできちっとしている先生なので、一つに絞って選ぶ方がよいのではというふうに言われると思っていました。意外な言葉が返ってきて驚きましたが、自分のやりたいことを応援してくれていると感じました。それ以来、この言葉はずっと私の背中を押してくれているので、先生にはとても感謝しています。

